

人体形態学

Human Morphology

単位数：2単位

○藤谷 昌司 教授：神経科学
北垣 一 教授：放射線医学

1. 科目の教育方針

人体の構造を分子、細胞、組織、器官、個体の各レベルで階層的に学ぶとともに、その放射線解剖学や発生学、ならびに神経解剖学について理解を深める。

2. 教育目標

一般目標 general instructional objectives

- 1) 人体の形成過程を分子から個体に至る各レベルにおいて理解する。
- 2) 人体各部の構造を肉眼解剖学および顕微解剖学的に理解する。
- 3) 人体各部の構造と機能との関連を神経解剖学的に理解する。
- 4) 人体各部の構造を画像形態学的に理解する。

行動目標 specific behavioral objectives

- 1) 人体形成における正常と異常を各レベルで説明できる。
- 2) 人体各部の基本的構造を機能と関連づけて説明できる。
- 3) 人体の構造の病的異常を画像形態学的に説明できる。
- 4) 基礎的および臨床的な課題を通じて、自ら問題を解決する能力を養う。

3. 教育の方法、進め方

オムニバス形式を基本とする講義と演習により行う。

講義は主としてオンラインで行うこととし、Teams 等によるライブ配信を中心にオンデマンドを併用する。講義方法に変更（オンライン⇒対面等）がある場合には都度、連絡を行う。

4. 成績評価の方法

すべての講義と演習が終わった後、規定の出席率（2/3 以上）を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。

5. 使用テキスト・参考文献

Larsen's Human Embryology (5th edition), Gary Schoenwolf et al., Elsevier, 2014
Neuroanatomy Text and Atlas (4th edition), John H. Martin, McGraw-Hill Education,

2012

Diagnostic Imaging: Brain (3rd edition), Anne G Osborn, Amirsis, 2015

6. 教育内容

| 回 | 授業内容 | 担当 |
|----|-----------|-------|
| 1 | 人体発生学 1 | 藤谷 昌司 |
| 2 | 人体発生学 2 | 藤谷 昌司 |
| 3 | 人体発生学 3 | 藤谷 昌司 |
| 4 | 人体発生学 4 | 藤谷 昌司 |
| 5 | 人体発生学 5 | 藤谷 昌司 |
| 6 | 神経・感覚器学 1 | 藤谷 昌司 |
| 7 | 神経・感覚器学 2 | 藤谷 昌司 |
| 8 | 神経・感覚器学 3 | 藤谷 昌司 |
| 9 | 神経・感覚器学 4 | 藤谷 昌司 |
| 10 | 神経・感覚器学 5 | 藤谷 昌司 |
| 11 | 画像形態学 1 | 北垣 一 |
| 12 | 画像形態学 2 | 北垣 一 |
| 13 | 画像形態学 3 | 北垣 一 |
| 14 | 画像形態学 4 | 北垣 一 |
| 15 | 画像形態学 5 | 北垣 一 |